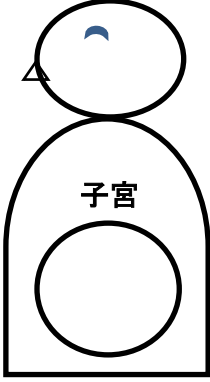


妊婦の体重は何が増えているの？

	①どのくらい	②母体の条件が切り替わる	③母体の体重が基準量より増えると	④母体は	⑤児は		
血液	<p>※児を育てるための血液量を増やす</p> <p>全身の血液量 体重の1/13 55kgの人で 4.2ℓ⇒6.2ℓ (1.5倍)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>心臓から出る 1回の血液量 65cc ⇒ 80~85cc 1分間の脈拍数 75回 ⇒ 87~95回 1分間の量 4~5ℓ ⇒ 7~8ℓ</p> </div>	<p>※たくさんの血液を血圧を下げ、サラサラにして児に送り込む 心臓の脈拍数を増やす ⇒血液量を増やす (自律神経) 胎盤や腎臓の血管の抵抗を減らす ⇒血圧を上げない (性ホルモン)</p> <p>血液をサラサラして流れやすくする ⇒貧血傾向になる (腎臓ホルモン)</p>	<p>血液量がさらに増える →自律神経→心臓からの脈拍数をさらに増やす ⇒高血圧</p>	妊娠性高血圧	早産 低体重児 IUGR (子宮内胎児発育遅延)		
			<p>胎盤の血管に圧がかかる ⇒血管が傷つき、動脈硬化 ⇒児に酸素や栄養が送れなくなる</p> <p>腎臓の血管に圧がかかる ⇒腎臓の血管が傷つく</p>			<p>蛋白尿・むくみ</p>	
脂肪	<p>※母体は脂肪をエネルギーとして使い 児にはクリーンな糖を優先して送る</p> <p>妊婦の体型の特徴 乳房とおなかでっぱって おしりに脂肪がついて ⇒バランスがとれている</p> <div style="text-align: center;">  <p>乳房 子宮 おしり</p> </div>	<p>膵臓からインスリン分泌量が増える</p> <p>母体は (前期) 後期のために脂肪を蓄える (後期) 糖が不足するためエネルギーとして脂肪を使う ⇒インスリンが効きにくくなる (性ホルモン)</p> <p>児では 母体からクリーンなエネルギーの糖を優先的にもらう</p>	<p>膵臓からインスリンがさらにたくさん分泌される</p>	妊娠性高血圧	早産 低体重児 IUGR (子宮内胎児発育遅延)		
			<p>⇒インスリン抵抗性↑↑ ⇒高インスリン血症 ⇒腎臓から塩分(Na)が排泄されない</p>			妊娠糖尿病	早産 低体重児 IUGR (子宮内胎児発育遅延)
			<p>⇒高血糖↑↑ ⇒余分な糖が赤血球にくっつく ⇒酸素を運べなくなる</p> <p>⇒インスリンが足りなくなる ⇒母体の高血糖で 児にたくさん糖が流れる</p>				